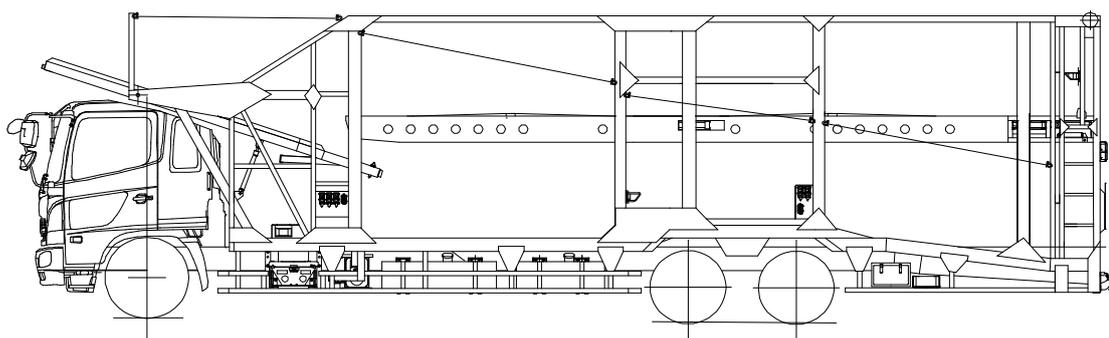


5 台積み車両運搬車 解体マニュアル



尾張車体工業株式会社

2015 年 3 月 発行

目 次

	ページ
1. はじめに	2
2. 解体作業上の注意	2
3. 主要部位名	3
4. 積み込み・固縛部品の取り外し	4
5. 油圧系部品の取り外し	4・5
6. NO1 フロアの取り外し	5
7. NO2 フロアの取り外し	6・7
8. 電気系統の取り外し	7
9. 車枠の分解	7
10. 部材一覧	8
11. 社名の表示ステッカー	9
12. 材料名表示、製造番号名板	9

1. はじめに

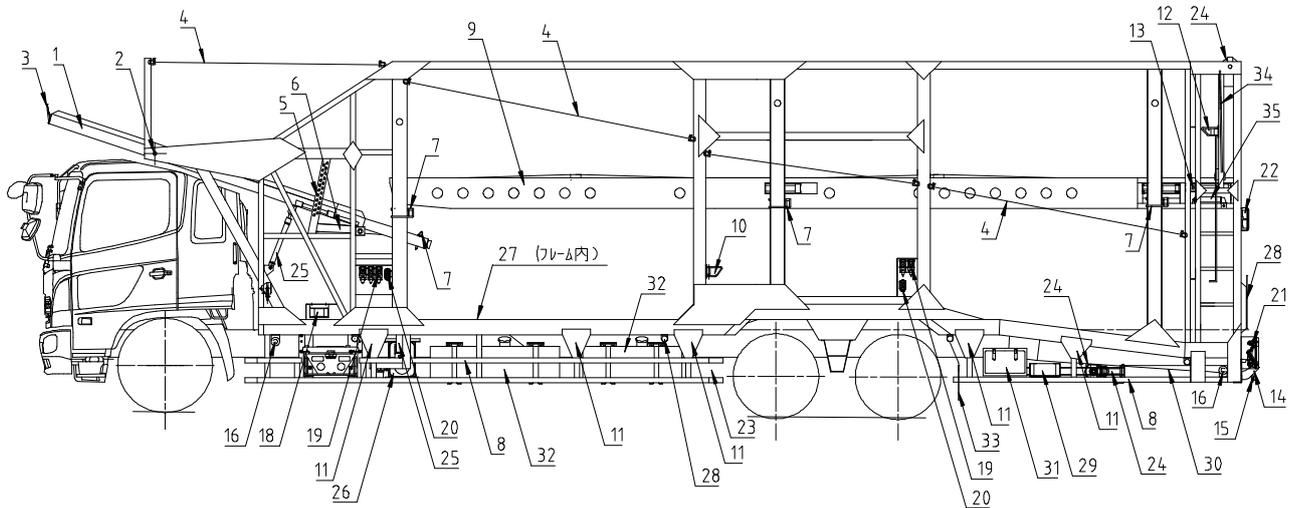
- 1-1 本マニュアルは車両運搬車の解体に関して、「適切で効率的の作業」を案内し、使用済み架装物処理の各段階で適正かつ、安全に処理するための手順をまとめてあります。
- 1-2 本マニュアルに記載のない内容（事前準備、選別等）については、弊社各営業担当窓口へご確認下さい。
- 1-3 本マニュアルに記載する内容は予告なく改訂することがありますので、予めご了承下さい。

2. 解体作業上の注意

- 2-1 安全な作業を行なうに当たって、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて、保護具を着用して下さい。
- 2-2 高所作業については、安全帯、足場の確保等、転落防止処置を講じて行なって下さい。
- 2-3 燃料系の除去、回収に当たっては、消防法を遵守し、引火、爆発が発生しないような環境のもと及び方法で行なって下さい。
- 2-4 油脂、液体系の除去、回収に当たっては、地下浸透や施設外流出が発生しないような環境のもと及び方法で行なって下さい。
- 2-5 タンク等の解体時は、有害物質等の除去、洗浄を完全に行い、安全を確保した上で作業して下さい。
- 2-6 使用済み架装物等に含まれる作動油の有害物質及び埋め立てが禁止されている部品、材料並びにそれらを含む部品を粉碎処理する前工程で選別し適正に保管、処分を行なって下さい。
- 2-7 FRP、木材の解体処理については、シュレッダー業者又は専門回収業者に委託し、適正に処理を行なって下さい。
- 2-8 上記注意事項以外に、以下の法律を遵守するようお願いします。

産業廃棄物処理法	騒音規制法
水質汚濁防止法	労働安全衛生法
大気汚染防止法	消防法
悪臭防止法	その他
- 2-9 解体作業を始める前に、解体作業中車両が動き出さないように適切な固定対策を行って下さい。

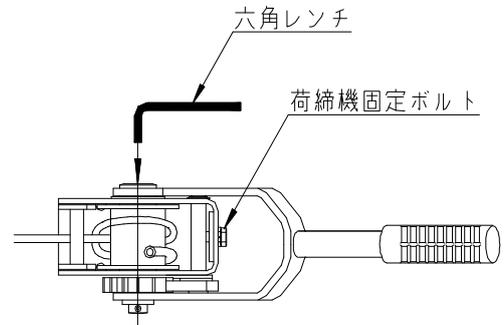
3、主要部位名



- | | | | |
|-----|----------------|-----|--------------------------|
| 1- | NO1フロア | 21- | テールランプ・ハーネスASSY |
| 2- | デラックスピン | 22- | マルチコンピランプ |
| 3- | 固定タイヤストッパー | 23- | タイヤ灯 |
| 4- | 転落防止ワイヤ | 24- | 滑車(シーブ) |
| 5- | フロアガイドレール | 25- | 油圧シリンダー・ピン・油圧ホース
・金具類 |
| 6- | スライドレール | 26- | 油圧タンク・油圧バルブ |
| 7- | フロアセットピン | 27- | 油圧電磁切替弁 |
| 8- | サイドガードスカートパイプ | 28- | 反射器 |
| 9- | NO2フロア | 29- | 補助道板(樹脂製) |
| 10- | 三角ストッパー | 30- | 乗込みアルミ道板 |
| 11- | アウトリガー・クロスメンバー | 31- | 工具箱 |
| 12- | カバーストッパー | 32- | 燃料タンク |
| 13- | セットボルトスライドナット | 33- | 泥除け(樹脂製) |
| 14- | オーム型引っ掛け金具 | 34- | 昇降ワイヤ |
| 15- | NOプレートステー | 35- | サポートローラー |
| 16- | 車幅灯 | | |
| 17- | 作業灯 | | |
| 18- | サイドフラッシュランプ | | |
| 19- | 昇降スイッチ | | |
| 20- | エンジン始動停止スイッチ | | |

4、積み込み・固縛部品の取り外し

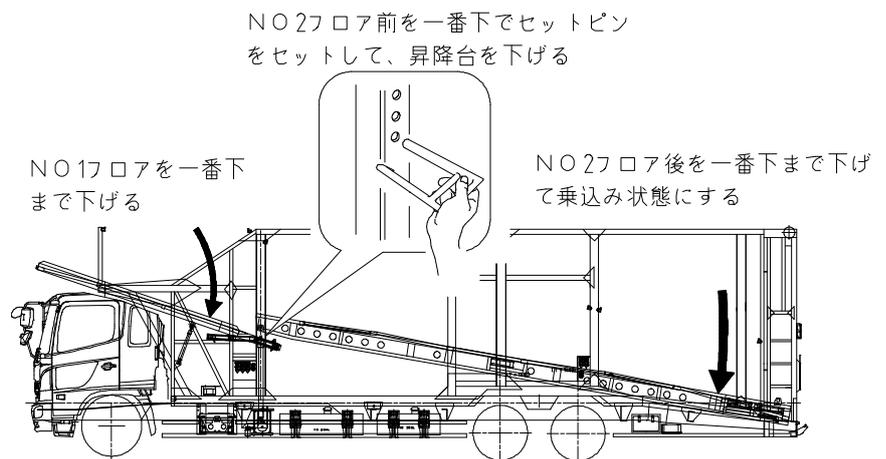
- 4-1 積み込み部品を全て下ろします。
・乗込みアルミ道板 ・タイヤストッパー ・工具皿 ・工具箱 ・補助道板 等
- 4-2 固縛ワイヤを荷締機から外します。
次に、荷締機固定ボルトを外し、車両から荷締機を取り外します。
- 4-3 固縛ワイヤ（車両）から固縛用フック・シャックルローラー等を外し、樹脂と鉄に仕分けします。
- 4-4 転落防止ワイヤを取り外し、ローラー（樹脂）と鉄に仕分けします。
- 4-5 上記作業後、各部材ごとに選別して適正な処分をして下さい。



5、油圧系部品の取り外し

- 5-1 最初に2階フロア用昇降シリンダ - を外します。
作業ポイントの下には、オイル受け皿を置いておきます。

NO2フロア前のフロアセットピンを最下段でセットして一番下まで下げます、
NO1昇降台・NO2昇降台後も一番下へ下げます。



上記作業により、シリンダーはフリー状態になります。シリンダーポート部の継手を外し、シリンダーと油圧配管を分離します。この時油が漏れ出します、注意して下さい。

シリンダー本体のピン（固定ボルト）、ロッド側のピン（固定ボルト）を外し、車輻からシリンダーを取り外します。

⚠ 注意

必ず安全のため、シリンダーを外す時は天井クレーン等で昇降フロアを保持して、作業を行なって下さい。昇降フロアの落下等、思わぬ事故につながるおそれがあります。

各油圧部品を取り外します。



アドバイス

作業する時は必ず受け皿を受けてから各油圧部品を外しましょう。多少に関わらず必ず各部品から油が必ず出ます。

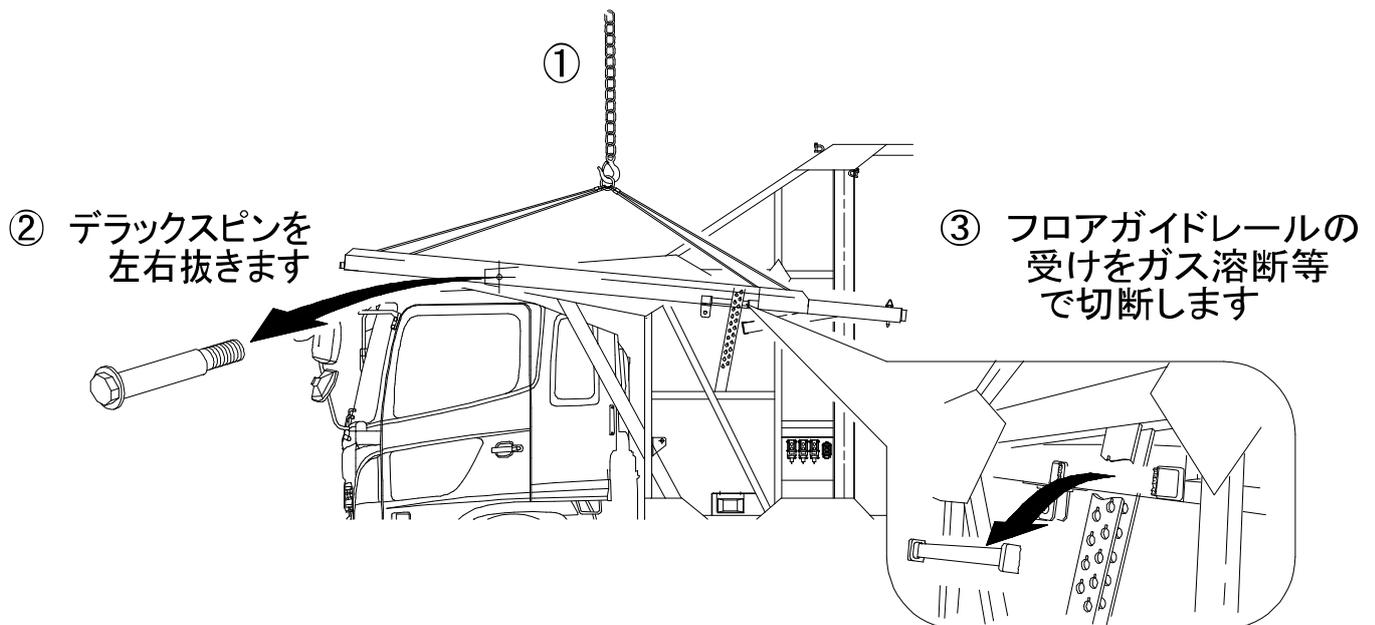
- ・ 油圧ポンプ
- ・ 油圧タンク
- ・ 電磁弁
- ・ 各油圧配管

上記作業後、各部材ごとに選別して適正な処理をしてください。

6、NO1フロアの取り外し

6-1 バッテリーの端子を一時外し、電気がショートしない様にします。

6-2 NO1フロアを天井クレーン等で吊り水平の状態にします。



- 6-3 NO1フロアのデラックスピン（ヒンジピン）を外します。
- 6-4 フロアガイドレールの受けをNO1フロアから切断します。
- 6-5 天井クレーン等で垂直に上げ、車輦からNO1フロアを別の場所へ降ろしてガス溶断機等で解体します。
- 6-6 上記作業後、各部材ごとに選別して適正な処分をして下さい。

7、NO2フロアの取り外し

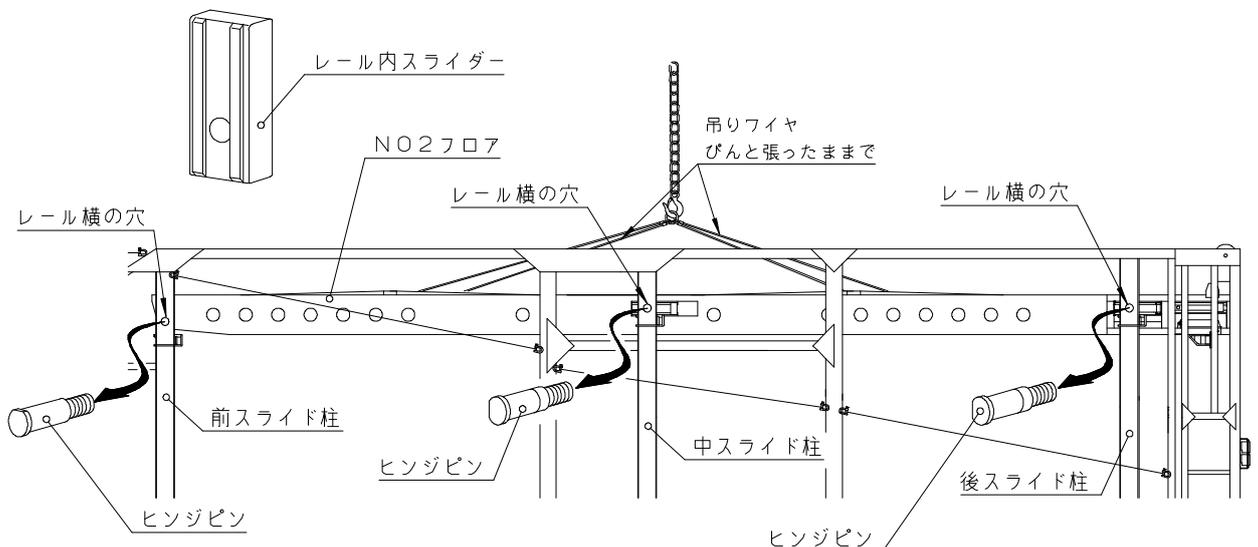
- 7-1 天井クレーン等でNO2フロアの後方を吊り上げ、NO2フロアが水平になる様にフロアセットピンをセットして、NO2フロアを水平にします。



注意

この時必ず 5-1 でセットしたNO2フロア前のフロアセットピンがセットされている事を必ず確認して下さい。NO2フロアが落下し思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 7-2 天井クレーン等の吊りワイヤをサイド掛け直し、NO2フロアを水平に吊り上げ、全スライド2300水平の位置でセットピンをセットして、NO2フロアをセットピンに乗せます。
この時天井クレーン等の吊りワイヤはピンと張った状態にしておいて下さい。
- 7-3 NO2フロア後部の昇降用ワイヤを、ガス溶断機等で途中から切断して、NO2フロアから切り離します。
(この時点でワイヤクリップを緩め、ワイヤを外しても可)
- 7-4 スライド柱(左右計6本)内のスライダーを、NO2フロアから外します。
ヒンジピンのネジを外しレール横の穴からヒンジピンを抜き、レール内のスライダーとNO2フロアを分離します。





注意

ヒンジピンを抜く時は、NO2フロアの下へは入らないでください。
NO2フロアの急な傾き、落下などにより、思わぬ事故につながる
おそれがあります。

- 7-5 天井クレーン等で、NO2フロアを吊り上げ、フロア後端が 24-滑車（シーブ）に接触しない様に注意してNO2フロアを別の場所に降ろします
- 7-6 NO2フロアから、ワイヤクリップ・サポートローラ（樹脂）等を外し、ガス溶断機等でフロアを切断・解体して各部材ごとに適正な処分をして下さい。

8、電気系統の取り外し

- 8-1 6-1 で外したバッテリーの端子が外れていることを確認して下さい。
- 8-2 シャシーからの電源配線を切断します。（車高灯、車幅灯、タイヤ灯等）
テールランプはカプラーを外します（位置フレーム内車輛後部）



注意

切断した配線は必ず + - に分けテーピングして下さい。
バッテリーをつないだ時にショートする危険があります。

- 8-3 電装部品等で分別処理が必要なものは、予め、取り外して分別処分して下さい。

9、車枠の分解

- 9-1 車枠（サイド枠）の左右どちらかの前後を天井クレーン等で吊り、ガス溶断機で車枠と前部鳥居部と1階フロア・アウトリガー部を切断し、クレーンで横に倒します。
- 9-2 車枠を横に倒してから解体し、分別処理します。
- 9-3 シャシーフレームと溶接してある1階フロアの横根太部分をガス溶断機で切断解体します。
- 9-3 アウトリガー、クロスメンバーをガス溶断機で切断して、分解して下さい。
- 9-4 上記作業後、各部材ごとに選別して適正な処分をしてください。

10、部材一覧

3 ページ、主要部位から

番号	品名	材質	備考
1	NO1 フロア	鉄	
2	デラックスピン	鉄	
3	固定タイヤストッパー	鉄	
4	転落防止ワイヤ	鉄・ステンレス	仕様により異なります
5	フロアガイドレール	鉄	
6	スライドレール・スライド枠	鉄	
7	フロアセットピン	鉄	
8	サイドガードスカートパイプ	鉄・ステンレス	仕様により異なります
9	NO2 フロア	鉄	
10	三角ストッパー	鉄	
11	アウトリガー・クロスメンバー	鉄	
12	カバーストッパー	鉄	
13	セットボルトスライドナット	鉄	
14	オーム引っ掛け金具	鉄	
15	NO プレート	鉄	
16	車幅灯	PMMK+ABS	
17	作業灯	PMMA+ABS+ステンレス	
18	サイドフラッシュランプ	PC+鉄	
19	昇降スイッチ	ABS+ステンレス+ゴム	
20	エンジン始動停止スイッチ	ABS+ステンレス+ゴム	
21	テールランプ・ハーネス ASSY	PC+PVC+ステンレス+銅	
22	マルチコンビランプ	PC+PP+ステンレス	
23	タイヤ灯	鉄+ガラス	
24	滑車(シーブ)	POM	
25	油圧シリンダ - ASSY	鉄+ALBC+ゴム	
	油圧ホース・固定金具類	鉄+ゴム	
26	油圧タンク・油圧バルブ	鉄+ゴム	
27	油圧電磁切替弁	鉄+ゴム+プラスチック	
28	反射器	PC+アクリル+アルミ	
29	補助道板	プラスチック	
30	乗込みアルミ道板	アルミ	
31	工具箱	鉄・ステンレス	仕様により異なります
32	燃料タンク	鉄・ステンレス+ゴム	仕様により異なります
33	泥除け	EVA	
34	昇降ワイヤ	鉄	
35	サポートローラー	ウレタン	

【注記】

- 1、油圧バルブ内に接続される配管継手には、Oリングやパッキン等のゴム、樹脂製品が含まれます。
- 2、スイッチ、ランプ等、部品内配線接続に鉛を含むハンダが使用されています。
- 3、油圧作動油の使用量は約 40L ~ 20L (仕様により異なる) です。
適切な容量の受け皿、廃油タンクを事前に用意して下さい。

11、社名の表示ステッカー



貼り付け位置は下図参照

12、材料名表示、製造番号名板

材料表示ステッカー

架装物樹脂材料表（出荷時） 尾張車体工業株式会社	
品名	材料名
サポートローラー	ウレタン
各所減摩材	NCナイロン
滑車類	POM
マットガード	EVA
サイドガードスカートパイプ両端材	プラスチック
各輪止め類・補助板木類	プラスチック

製造番号名板

